

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.53

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	子育て世代支援事業 (鳴門市版ネウボラ及び妊産婦健康診査事業)	担当部署	健康福祉部 健康増進課	
総合計画体系				根拠法令 計画など	母子保健法、子ども子育て支援法 児童福祉法	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり		事業 期間	開始	平成 <input type="text" value="27"/> 年度
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康でやすらげるまち なると				終期
(小項目)		保健・医療				
施策	7	健康・医療対策の推進				
基本事業	2	健康意識の高揚と保健予防活動の充実				
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input checked="" type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無		<input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求		

◎事業概要(PLAN)

目的	妊娠期から就学前まで切れ目ない支援を行う拠点として、関係機関と連携を図りながら子育て支援を行うことにより、母親の不安や負担の軽減を図り、安心して子どもを産み育てることのできるまちづくりをめざす。		事業 内容 (R1)	①母子保健コーディネーター(保健師及び助産師)による来所、電話、訪問相談・支援 ②妊産婦健診などの費用助成 ・妊婦一般健康診査費用助成(14回) ・多胎妊婦に対する超音波検査費用追加助成(2回) ・産婦健診(産後2週間・産後1か月)費用助成(2回) ③心身の不調等支援の必要な妊産婦への取り組み ・産前・産後ヘルパー派遣事業 ・産後ケア事業(産後デイサービス・産後ショートステイ) ④マタニティー教室(妊娠中の健康管理や出産育児の不安を軽減するため助産師・保健師、管理栄養士による具体的な関わり方などの実践指導を行う)					
実施方針	①母子保健コーディネーター(保健師及び助産師)による相談・支援を充実し、不安・負担の軽減を図る。 ②妊婦健診、産婦健診、多胎妊婦超音波検査費用を助成し妊産婦の健康管理と負担軽減を図る。 ③心身の不調等により支援の必要な妊産婦に対して、産前・産後ヘルパー派遣事業や産後ケア事業の利用を促し、不安・負担の軽減を図る。 ④育児困難を抱える保護者へ具体的に関わり方などの実践指導を行い不安・負担の軽減を図る。			当初からの 変更点	番号法に基づく妊産婦健診、乳幼児健診情報の情報連携開始に向けたシステム改修を行った。				
指標名				平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	子育て世代包括支援センター利用者数		2,398	1,778	1,680	1,750	1,780	人
	2	関係機関との連絡調整回数		-	14	20	20	20	回
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	鳴門市で子育てをしたい人の割合			95.7	94.6	94.6	94.7	94.7	%

事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	①母子保健コーディネーター(保健師及び助産師)による相談・支援 ②妊産婦健診等の費用助成 ③産前・産後ヘルパー派遣事業、産後ケア事業		継続	継続	継続

事業費推移 (千円)	年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	46,400	2,474	48,874	48,933	48,933

事務事業名	子育て世代支援事業 (鳴門市版ネウボラ及び妊産婦健康診査事業)
-------	------------------------------------

【実績ベース】

◎実施結果 (DO)

事業 実施 内容	令和元年度実施内容	①母子保健コーディネーター(保健師及び助産師)による来所、電話、訪問相談・支援
		②妊産婦健診などの費用助成 ・妊婦一般健康診査費用助成(14回) ・多胎妊婦に対する超音波検査費用追加助成(2回) ・産婦健診(産後2週間・産後1か月)費用助成(2回) ③心身の不調等支援の必要な妊産婦への取り組み ・産前・産後ヘルパー派遣事業 ・産後ケア事業(産後デイサービス・産後ショートステイ) ④マタニティー教室(妊娠中の健康管理や出産育児の不安を軽減し子育てでできるよう助産師・保健師・管理栄養士による具体的な関わり方等の実践指導)

指標名		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1 子育て世代包括支援センター利用者数	1,778	1,642	1,750	1780	1,800	人
	2 関係機関との連絡調整回数	14	18	20	20	20	回
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	鳴門市で子育てをしたい人の割合	94.6	94.5	94.7	94.7	94.8	%
	目標達成率(実績/目標)		99.9				%

事業費推移 (円)	年度	平成30年度決算	令和元年度決算			
			前年度からの繰越決算額		令和2年度への繰越額	
			決算額	最終事業費	決算額	最終事業費
	計	46,454,906	0	42,966,590	0	42,966,590
財源内訳	国庫支出金	3,806,000	0	5,271,000	0	5,271,000
	県支出金	1,426,000	0	1,757,000	0	1,757,000
	地方債	0	0	0	0	0
	使用料・手数料	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	41,222,906	0	35,938,590	0	35,938,590

◎評価 (CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	鳴門市で子育てをしたい人の割合		成果指標に対する所見	子育て世代包括支援推進協議会の開催により関係機関との連携を深めていくことができる。支援の方向性(時期や方法)について協議する養育支援会議を行うことで、要支援者に対する支援計画、進捗管理を行い早期に支援を行う体制づくりを進めている。		
	目標	94.6	%				
	実績	94.5	%				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	新型コロナウイルス感染予防による外出自粛から、子育て世代包括支援センターへの来所の減少が見られる。来所だけでなく相談についても周知を行い、相談の機会をもつ。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容	令和2年度	令和元年度事業の継続。 来所以外の相談の機会の周知として、健診受診時、案内通知時などに、子育て世代包括支援センターの連絡先を伝える。(来所、メール、電話での相談)
	令和3年度	継続